

千葉市美術館企画展「岡本秋暉 百花百鳥に挑んだ江戸の絵師—摘水軒コレクションを中心に」および
「江戸絵画縦横無尽！摘水軒コレクション名品展」を開催します
～特色ある摘水軒コレクションで江戸絵画を満喫～

千葉市美術館では、企画展「岡本秋暉 百花百鳥に挑んだ江戸の絵師—摘水軒コレクションを中心に」および「江戸絵画縦横無尽！摘水軒コレクション名品展」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展では、千葉県柏市にある摘水軒記念文化振興財団のコレクションを中心に、江戸後期の画人・岡本秋暉の個展と、肉筆浮世絵や花鳥・動物画など幅広い作品を紹介する2つの展覧会で江戸絵画の魅力を紹介します。

開催に先立ちまして、6月27日（木）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しくください。

1 会期

令和6年6月28日（金）～8月25日（日）

休室日 7月1日（月）、8日（月）、29日（月）、8月5日（月）

※7月1日（月）、8月5日（月）は全館休館

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催

千葉市美術館、公益財団法人摘水軒記念文化振興財団

4 ポイント

◆摘水軒記念文化振興財団とは

千葉県柏市にある摘水軒記念文化振興財団のルーツは、江戸時代に柏村の名主であった寺嶋家の13代目当主が開いた文化サロン「滴翠軒」に遡ります。「滴翠軒」には文人墨客が集い、当地の文化に貢献しました。昭和30年に前身である「財団法人寺嶋文化会館」を設立し、現在は文化財事業を中核とする活動を展開、なかでも岡本秋暉作品のコレクションは世界一の質を誇ります。

◆孔雀といえば岡本秋暉。最晩年の作品まで約100件の作品で画業を総覧

孔雀やオウムなど珍しい鳥の生態を小鳥店に通って観察し、写生を重ねたという逸話が残る岡本秋暉。江戸時代中期以降南蘋派の流行もあり、めでたい画題として孔雀が多く描かれるようになる中、花鳥画とくに孔雀を得意としていた秋暉は孔雀の画家として名を馳せました。18年ぶりの回顧展となる本展では、画業のはじまりから亡くなるまでの作品を紹介し、生涯を花鳥画の制作に捧げ、技術を磨き続けたひたむきな画業を総覧します。

◆椿椿山・渡辺崋山ら同時代画家から、秋暉が仕えた小田原藩ゆかりの作品も

岡本秋暉の絵師としてのルーツといえる、実父で彫金家の石黒政美による鏝をはじめ、師であった大西圭斎の花鳥図、そして同時代に親交のあった椿椿山や渡辺崋山の作品を紹介。一方、小田原藩江戸中屋敷に仕え、藩主御殿を飾った杉戸絵や小田原で農村復興の指揮者として名高い二宮尊徳の唯一の肖像画を描くなど藩士としての側面も展示し、秋暉の全体像を知る機会となります。

◆重要文化財から無名の画家によるユニークな作品まで、江戸絵画の楽しみを再発見！

重要文化財に指定されている岩佐又兵衛「弄玉仙図」をはじめ、伊藤若冲、鈴木春信、葛飾北斎の肉筆画といった名品だけでなく、無款でも愛らしい動物画や計23頭のクジラの姿を描く「鯨図巻」といったユニークな作品までが揃う摘水軒コレクション。有名無名にかかわらず、個人コレクションならではの自由で直感的な審美眼で選びぬかれた豊かな作品群を通して、純粹に絵と向き合う喜びと楽しさを感じてください。

5 観覧料

一般1,400円(1,120円)、大学生800円(640円)

※「岡本秋暉展」と「摘水軒コレクション名品展」の共通チケット

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

※()内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット(Lコード 31752)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて6月27日まで販売(6月28日以降は当日券販売)

※ナイトミュージアム割引 金・土曜日の18:00以降は観覧料半額

6 関連イベント

講演会、担当学芸員によるショートレクチャー、コンサートなどを開催

「岡本秋暉 百花百鳥に挑んだ江戸の絵師—摘水軒コレクションを中心に」および「江戸絵画 縦横無尽！摘水軒コレクション名品展」披露説明会 開催概要

1 日時

6月27日(木) 14:00から

2 場所

千葉市美術館 8階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。当日は摘水軒記念文化振興財団理事長も来場予定です。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 松岡 まり江

広報担当 磯野 愛

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp